

石狩川流域委員会（第11回）議事要旨

■日 時：平成31年1月9日（水曜）14：30～15：30

■場 所：北海道開発局研修センター 1階会議室

■出席者：黒木委員長、上田委員、片石委員、平澤委員、山田委員（以上5名）

■議題

- ・豊平川現地調査について

■議事要旨

- ・サケの産卵床の取り組みについてPRを促進してほしい。（委員）

- ・鉾津ダムについて、水道への影響はないのか。（委員）

→豊羽鉾山については、平成18年に操業休止。堆積した捨石については、適正な水処理をしたうえで排水していると認識している。（事務局）

- ・様々な利用がされているとともに、多様な自然環境を有する河川であると認識した。一方で、災害リスクが高まる中、自然への配慮やサケの遡上環境を維持しつつ、河道内の中州や樹木の管理、上流の洗堀対策など管理の難しい河川であることを認識した。（委員）

- ・ダムワインの取り組みをはじめ、地域と繋がっていくことが重要。（委員）

- ・ダムの効率的な利活用についてPRを促進してほしい。また、ダムの能力について教えてほしい。（委員）

- ・排水機場の効果について教えてほしい。（委員）

- ・各委員の要望があれば、改めて現地視察をお願いしたい。（委員長）

- ・計画論と気候変動の関係について、人数を絞って勉強会をお願いしたい。（委員長）

- ・次回委員会は1月、2月に予定している。（事務局）